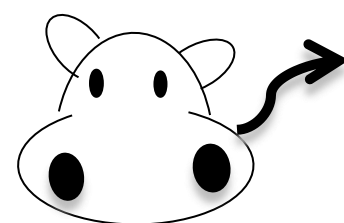


**2022年度**

# 環境経営レポート

(活動期間2022年4月～2023年3月)

新水マリン株式会社 本社  
発行日：2023年6月26日



# 1. 環境方針

## 環境理念

人と環境に配慮しながら業務を遂行し、次の世代に住み良い地球を残すことを目指します。

## 基本方針

- ◇ 環境保全  
法規制の遵守及び代理店業務の適切な遂行で、船舶の不必要なエネルギー消費やCO<sub>2</sub>排出を最小限に抑制し、環境負荷の継続的な低減に努めます。
- ◇ 地域社会への貢献  
環境意識の高い社員を育成し、日常生活から環境影響を考慮するとともに地域の清掃活動や環境保全活動に積極的に参加します。

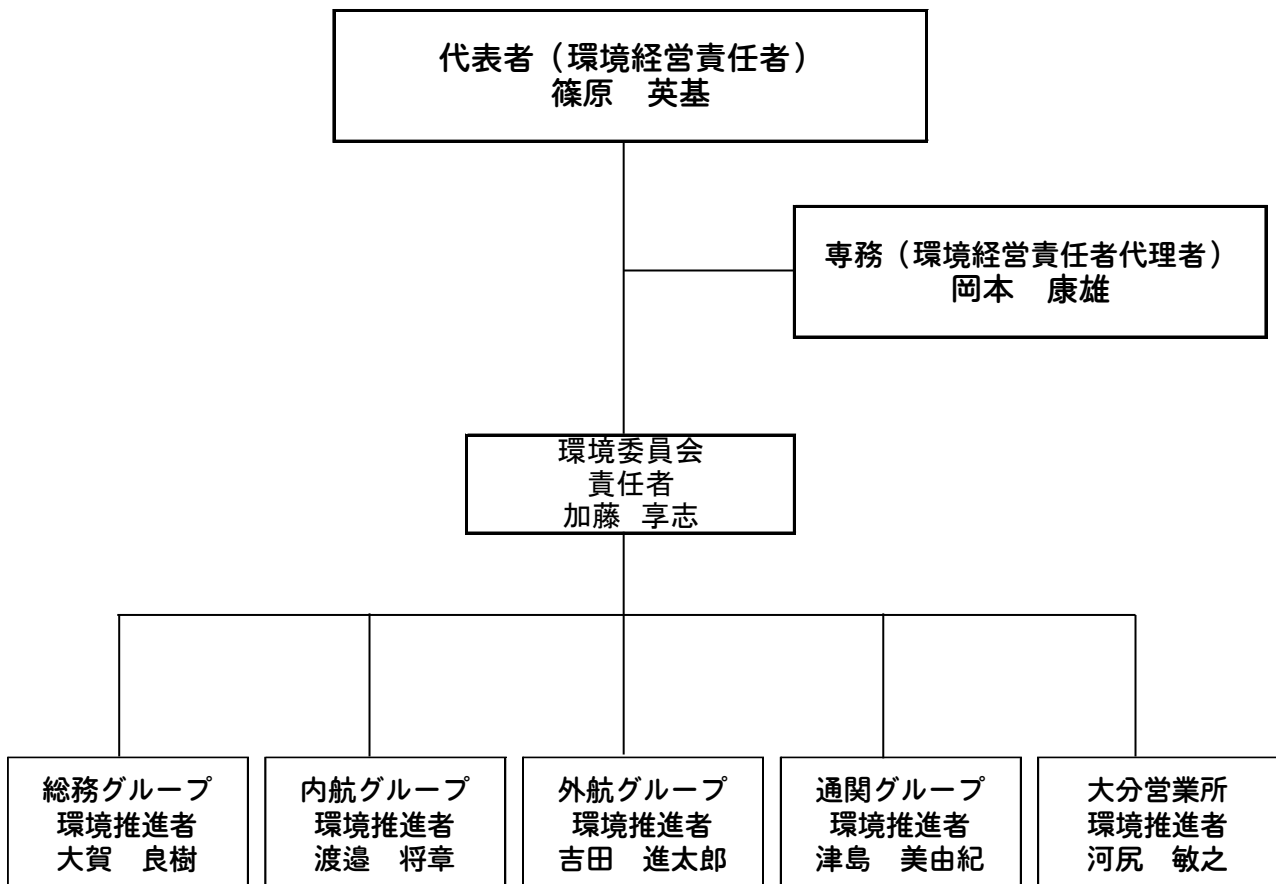
## 行動指針

- ① 守る  
国や地方自治体の環境規制を遵守するとともに、社内規定、手順書に基づく業務遂行を徹底します。
- ② 大切に  
使用するエネルギーの無駄遣いを減らすとともに、資源のリサイクル・再利用に努めます。また、グリーン購入を推進します。
- ③ 改善する  
5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動の推進により職場環境の改善を図ります。
- ④ 勉強する  
環境意識の向上のため、環境委員会等で勉強会を行います。
- ⑤ 参加する  
地域やENEOSの環境保全活動、清掃活動に積極的に参加します。

2022年4月1日 改訂  
新水マリン株式会社  
取締役社長

篠原 英基

## 2. 環境活動の実施体制（2022年度）



\*環境経営責任者・・・環境経営方針の決定及び環境経営計画の決定。

計画の見直しおよび必要な指示。

経営資源（人、もの、資金、情報等）の準備。

環境管理責任者の任命。

\*環境経営責任者・・・環境経営責任者を代行する。  
代理人

\*環境責任者・・・環境経営計画の策定、推進、実行及び活動計画の評価・分析。

\*環境推進者・・・環境活動実施状況の確認、報告及び環境活動の補佐。

\*グループ員・・・環境経営計画の実行、提案。自主的行動。

### 3. 主な環境負荷の実績及び環境目標

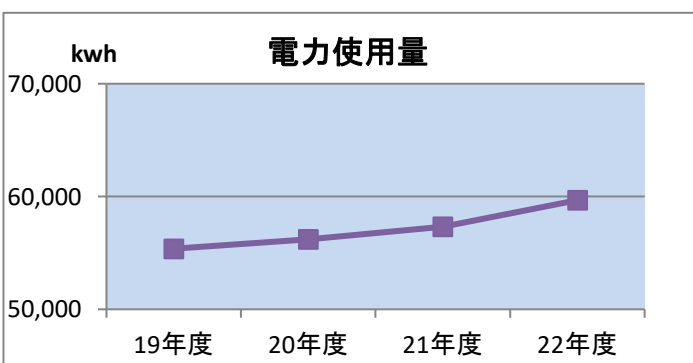
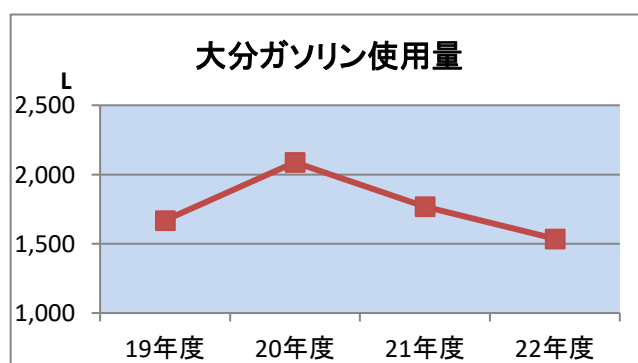
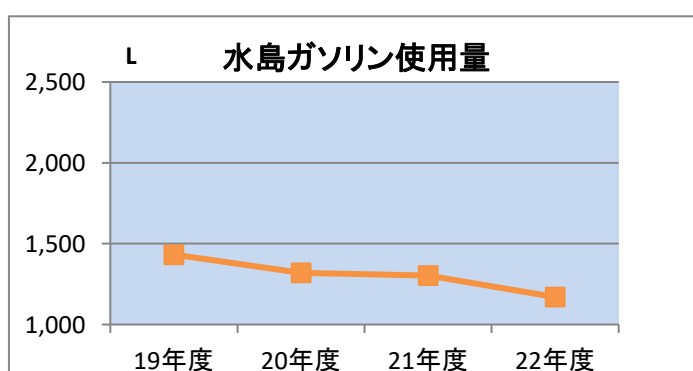
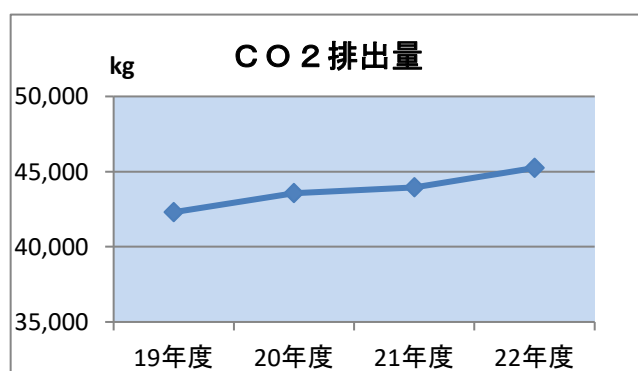
・過去4年間の環境負荷の推移  
【環境負荷実績表】

| 項目                            | 実績値       |           |           |           | 22年度<br>評価 |
|-------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
|                               | 19年度      | 20年度      | 21年度      | 22年度      |            |
| ①CO <sub>2</sub> 排出量(Kg) (全社) | 42,301.99 | 43,569.33 | 43,957.58 | 45,244.58 | ×          |
| ②水島ガソリン使用量(L)                 | 1,432.50  | 1,320.00  | 1,303.20  | 1,170.00  | ○          |
| ③大分ガソリン使用量(L)                 | 1,669.00  | 2,087.90  | 1,768.10  | 1,536.40  | ○          |
| ④電力使用量(Kwh) (水島)              | 55,373.00 | 56,203.00 | 57,325.00 | 59,675.00 | ×          |

※管理体制が整っているENEOS(株)水島製油所構内に所在する当社事務所においては、廃棄物排出量は製油所として一括管理されているため、数値把握できません。

※化学物質（P R T R対象物質）は使用しておりません。

※CO<sub>2</sub>排出係数：0.677kg-CO<sub>2</sub>/kwh, 0kg-CO<sub>2</sub>/kwh(自家使用太陽光)



・2023年度の環境目標

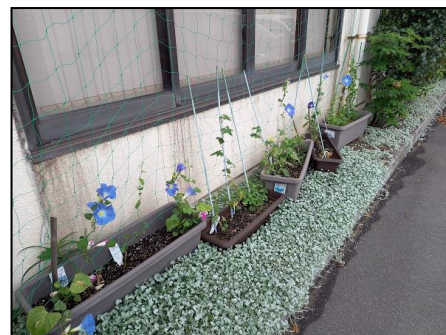
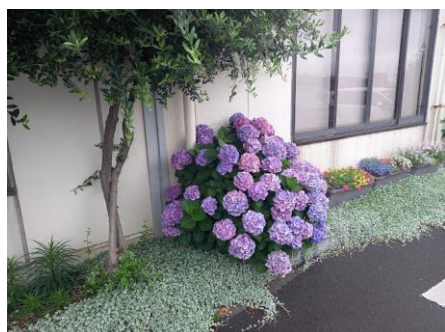
2023年度は2022年度の実績から1%減で目標設定しています。

| 項目                            | 実績値       |           | 前年度比         | 目標値<br>CO <sub>2</sub> 1%減 |
|-------------------------------|-----------|-----------|--------------|----------------------------|
|                               | 21年度      | 22年度      | 21年度と22年度の比較 | 23年度                       |
| ①CO <sub>2</sub> 排出量(Kg) (全社) | 43,957.58 | 45,244.58 | 1,287.00     | 44,792.13                  |
| ②水島ガソリン使用量(L)                 | 1,303.20  | 1,170.00  | △ 133.20     | 1,158.30                   |
| ③大分ガソリン使用量(L)                 | 1,768.10  | 1,536.40  | △ 231.70     | 1,521.04                   |
| ④電力使用量(kwh) (水島)              | 57,325.00 | 59,675.00 | 2,350.00     | 59,078.25                  |

## 4. 2022年度 環境活動計画とその結果

| 環境活動計画            | 具体的な目標(22年度)   | 結果  |
|-------------------|--|---|
| ①事故ゼロ・業務トラブルゼロの継続 | ・事故ゼロ・業務トラブルゼロを目指す   | ・軽微なトラブルはあったものの、業務上での事故や大きな業務トラブルの発生はなく目標を達成した。   |
| ②CO2排出量の削減        | ・本年度(22年度)の数値目標を、21年度比で、マイナス1%とする<br>・節電の徹底<br>・ガソリン使用料の削減 | ・本年度は主に気候要因により数値目標は達成できなかった。<br>・前年比 2.9%増加 (温暖化とコロナ対策(換気)の影響)<br>・昼休みやトイレ未使用時の消灯<br>・リモート会議や電子申請を推進した。 |
| ③5Sの推進            | ・整理・整頓の徹底<br>・清掃   | ・書類の紙保管を取りやめて、電子保管へ移行している。<br>・不要物を撤去し、空いたスペースを有効活用<br>・敷地内の除草作業や緑化を推進している。                             |
| ④ゴミの削減            | ・ごみリサイクル分別の徹底<br>・コピー用紙の裏紙使用                               | ・棧橋での分別、事務所での分別徹底は出来ている。<br>・前年比 △3.2%減(優先的に裏紙等を使用し無駄紙を省いた)<br>・前年(21年 370,063枚 ⇒ 22年 358,075枚)         |
| ⑤緑化推進             | ・建屋廻りの緑化維持。<br>・緑化活動<br>・緑の募金活動                            | ・4月&10月 建屋周り、花壇の除草作業。<br>・6月 朝顔を植える<br>・6月実施。<br>春季寄付額：4,050円   |

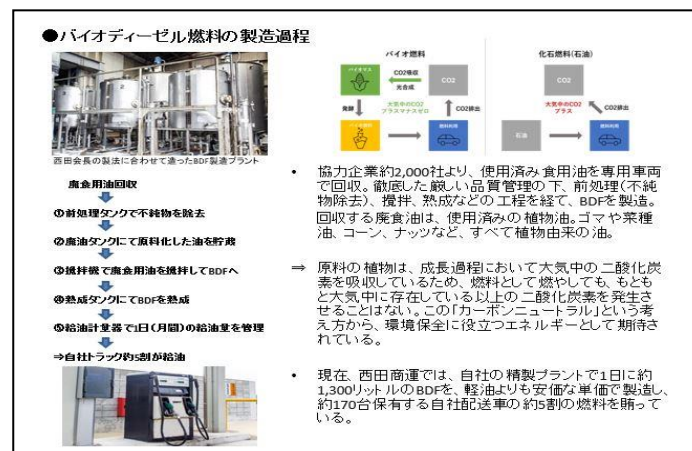
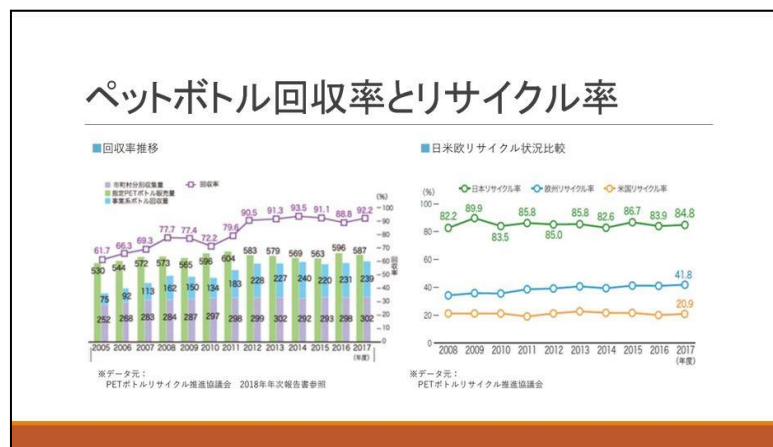
### 緑化の推進



ゴミ箱を設置し除草を促す

|      |                 |                              |
|------|-----------------|------------------------------|
| ⑥勉強会 | ・環境に関する知識を身につける | ・毎月環境に関するスピーチを実施した。(年間10回実施) |
|------|-----------------|------------------------------|

### 環境スピーチ



## 5. 代表者による評価

|                 | 環境管理責任者のコメント  |
|-----------------|---|
| ① 環境目標の達成状況     | コロナウイルス対策として室内の換気を行ったことにより、空調設備の稼働率が上がり、電力使用量が増加した。(前年度比 3.5%増) 業務電子化の影響で車移動が減少し、ガソリンの使用量は減少した。 |
| ② 取組状況の評価結果     | 印刷ではなく電子保存に移行し、紙の使用量は減少傾向。(前年度比 3.2%減)<br><br>地域での環境普及活動は、コロナウイルスの影響により中止となった。                  |
| ③ 環境関連法規制等の遵守状況 | 問題無し。   |
| ④ 外部からの苦情等      | 無し。   |
| ⑤ 今後            | 電力使用量の削減は、熱中症対策やコロナウイルス対策の換気の影響でこの数年は、上昇傾向が続いている。<br>2023年度は電力使用量の動向に注意しながら、対策を考えていきたい。         |

### 代表者による指示事項および総合評価

環境目標であった「全社でCO2排出量1%削減」は達成できず、残念な結果であった。電気使用量の増加理由としては、①昨年より高い気温、②夏場の熱中症対策、③コロナ対応の換気等であり、やむを得ないものと理解している。

#### <2023年度に向けて強化してほしい項目>

##### 1. 「CO2排出量の抑制」

熱中症対策等もあり、削減は困難かもしれないが抑制する努力は継続すること。

##### 2. 「環境スピーチ」の充実化

社員一人一人の環境意識をさらに高める目的で、スピーチの充実を図ること。

##### 3. 「5S」の積極的な取り組み

単純に片づけをするだけでなく、「労災防止」の観点からも職場を見直して欲しい。労災発生によるロスは、業務にも影響を与え、最終的には環境負荷にも繋がってしまう。また、花壇等の整備により、人の目も楽しませる豊かな職場環境をつくりましょう。

以上